

苦しみの中での反応

イントロダクション | 「苦しみの中でどのように反応すれば良いでしょうか」

私たち皆は日常生活の中で様々な種類の苦しみを経験しています。愛する人の死であり、うつであり、仕事か家庭の加藤でもあります。苦しみの中で、どのように反応すれば良いのでしょうか。今日、ヨブ記によって三つの答えがあります：1) 神を礼拝しましょう；2) 真実を語りましょう；3) 神の偉大さを理解しましょう。礼拝、真実、偉大さ。

聖書 | ヨブ

1:1 「ウツの地にヨブという名の人がいた。この人は潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっていた。」
1:8-11 「主はサタンに仰せられた。「おまえはわたしのしもべヨブに心を留めたか。彼のように潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっている者はひとりも地上にはいないのだが。」9 サタンは主に答えて言った。「ヨブはいたずらに神を恐れましょうか。10 あなたは彼と、その家とすべての持ち物との回りに、垣（かき）を巡らしたではありませんか。あなたが彼の手のわざを祝福されたので、彼の家畜は地にふえ広がっています。11 しかし、あなたの手を伸べ、彼のすべての持ち物を打ってください。彼はきっと、あなたに向かってのろうに違いありません。」
1:13-15 ある日、彼の息子、娘たちが、一番上の兄の家で食事をしたり、ぶどう酒を飲んだりしていたとき、14 使いがヨブのところに来て言った。「牛が耕し、そのそばで、ろばが草を食べていましたが、15 シェバ人が襲いかかり、これを奪い、若い者たちを剣の刃で打ち殺しました。私ひとりだけがのがれて、お知らせするのです。」
1:20-21 このとき、ヨブは立ち上がり、その上着を引き裂き、頭をそり、地にひれ伏して礼拝し、21 そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」
4:7-9 (ヨブの友達エリファズ)：「さあ思い出せ。だれか罪のないのに滅びた者があるか。どこに正しい人で絶たれた者があるか。8 私の見るところでは、不幸を耕し、害毒を蒔く者が、それを刈り取るのだ。9 彼らは神のいぶきによって滅び、その怒りの息によって消えうせる。」
9:21-22 (ヨブ)：「21 私は潔白だ。しかし、私には自分自身がわからない。私の自分のいのちをいとう。22 みな同じことだ。だから私は言う。神は、潔白な者をも悪者をも共に絶ち滅ぼされる。」
38：1-4：「1 主はあらしの中からヨブに答えて仰せられた。2 知識もなく言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。3 さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。4 わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか。あなたに悟ることができるなら、告げてみよ。」
42:1-3 「ヨブは主に答えて言った。2 あなたには、すべてができること、あなたはどんな計画も成し遂げられることを、私は知りました。3 知識もなく、摂理をおおい隠す者は、だれか。まことに、私は、自分で悟りえないことを告げました。自分でも知りえない不思議を。」
42:6 「それで私は自分をさげすみ、ちりと灰の中で悔いています。」
42:7 「さて、主がこれらのことばをヨブに語られて後、主はテマン人エリファズに仰せられた。「わたしの怒りはあなたとあなたのふたりの友に向かって燃える。それは、あなたがたがわたしについて真実を語らず、わたしのしもべヨブのようではなかったからだ。」

考えましょう |

- 1: 1章 20-21 節では、ヨブは苦しみの中でどのように反応しましたか。
- 2: 私たちはどのような苦しみを経験しましたか。私たちは苦しむ時、ヨブの反応によってどのように慰めてもらったり、挑んでもらったりしますか。
- 3: 神の判断は (42 章 7 節) ヨブの友達エリファズの答え (4 章 7-9 節) とヨブの答え (9 章 21-22 節) とを評価するために、どのように助かりますか。ヨブは何の真実を語りましたか。

- 4: 「潔白な苦しみがあるよ：自分のせいではないよ」という真実はどのように虐められた人か家庭の問題のある人か病気になる人を慰めますか。
- 5: 38 章 1-4 節と 42 章 1-3 節と 42 章 6 節では、ヨブは神について何を理解するようになりましたか。そして、ヨブは神に対する態度がどのように変わりましたか。
- 6: イエス・キリストは最終的な潔白な被害者で、最終的なヨブです。しかし、神はイエス・キリストの苦しみを通して私たちにも全世界にも許しを与えたり、これからの苦しみのない回復して完全な世界をもたらしたりしました。私たちは今週苦しみや葛藤の中で、具体的にどのようにこの福音の物語によって慰めてもらえますか。(参考：マタイ福音書 26:36-39; 黙示録書 21:1-4)

読みましょう |

マタイ福音書 26:36-39 節

36 それからイエスは弟子たちといっしょにゲツセマネという所に来て、彼らに言われた。「わたしがあそこに行って祈っている間、ここにすわっていなさい。」 37 それから、ペテロとゼベダイの子ふたりとをいっしょに連れて行かれたが、イエスは悲しみもだえ始められた。 38 そのとき、イエスは彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで、わたしといっしょに目をさましていなさい。」 39 それから、イエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈って言われた。「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようではなく、あなたのみこころのように、なさってください。」

ヨハネの黙示録 21:1-4 節

1 また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。 2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。 3 そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、4 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」

祈りましょう |

- ・ 苦しみの中でも、神の性格を思い起こして、慰められて、神を礼拝しましょう。
- ・ 直面している苦しみは必ずしも自分のせいではないと思い起こすように祈りましょう。
- ・ 創造主の摂理の偉大さを理解して、自分の苦しみや葛藤を神に委ねるように祈りましょう。

今週～来週のイベント

ランチタイムミーティング (10/4 赤坂、5, 霞が関、6, 大手町)
礼拝 Worship & Fellowship (9, 神のプリンス：ダビデの生涯④「ダビデのコミュニティ」)
NY チーム滞在 (9-16)
東北の社会人ボランティア (9-11)
ランチタイムミーティング (11, 九段下、12, 霞が関、12, 丸の内、13, 大手町)
ランチタイムミーティングのパーティー (12)
お弁当プロジェクト (15)
Broken: 傷ついた世界 (15)
礼拝 Worship & Fellowship (16, 神のプリンス：ダビデの生涯⑤「愛の復讐」)